



10月は「3R 推進月間」「食品ロス削減月間」、
10/30 (日)は、「食品ロス削減の日」です

問 リサイクル推進課 (内線7735)

「3R」とは ①ごみの削減のための行動

- ① REDUCE (発生抑制)
- ② REUSE (再使用)
- ③ RECYCLE (再生利用)

をまとめたキーワードです。

このうち最も大事な①REDUCE (発生抑制)の行動の一つが「食品ロスの削減」です。食品ロスとは「本来は食べられるのに捨てられてしまう食品」のことを指します。

国の推計によると、日本では平成27年度以降減少していますが、令和2年度に年間約522万トンもの「食品ロス」が発生しています。国民1人当たりの食品ロス量は年間約41キログラムです。この量は、毎日茶わん約1杯のご飯に近い量を捨てていることとなります。

今日からできる
食品ロスを減らすポイント

家庭編

- 買い物前に、冷蔵庫や食品庫にある食材を確認し、必要な分だけを買う
- すぐに食べる場合は、商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」をする
- 食品に記載されている保存方法に従って保存する
- 体調や健康、家族の予定も配慮し、食べきれぬ量を作る
- 冷蔵庫や食品庫内を定期的に整理し、期限の近い食品を手前にするなど、庫内に残っている食品を管理する

外食編

- 小盛りメニューやハーフサイズを活用し、食べられる量だけ注文する
- どうしても残ってしまった料理は、お店の人と相談して持ち帰ることも検討する

彩の国エコぐるめ協力店

市では、埼玉県と協力して、食品ロスや食品廃棄物を減らす取り組みをする事業者を募集しています。現在、市内36店の事業者(チェーン店を除く)が登録し、県WEBで紹介されています。



▲県WEB

生ごみの水をしばって減量化
におい減らして ごみ出し らくらく

調理中や食後に出てしまった生ごみの水切りをしましょう。家庭から出る可燃ごみの約45パーセントは生ごみで、生ごみの重さの約80パーセントは水分です。

生ごみの水切りをすることにより、

- ① 重さが減って、ごみ出しが楽になる
 - ② においが抑えられる
 - ③ ごみ集積所が汚れにくい
 - ④ 収集運搬の効率が上がる
 - ⑤ 焼却炉でよく燃える
- などの効果が期待できます。



第2次春日部市総合振興計画後期基本計画(案)について意見を募集
問 政策課 (内線2115)

新たなまちづくりの方向性や市の将来像を定め、総合的かつ計画的な市政運営を行うための計画です。前期基本計画が令和4年度をもって満了となることから、令和5年度～令和9年度を計画期間とする後期基本計画を策定するため、皆さんからの意見を募集します。
募集期間▶ 10/1(土)～31(月)(消印有効)
公表場所▶ 市役所2階政策課、市政情報室(市役所別館1階・庄和総合支所2階)、教育センター1階学習情報サロン、市民活動センター「ぽぽら春日部」、男女共同参画推進センター

「ハーモニー春日部」、各公民館、市WEB
意見を提出できる人▶ 市内在住・在勤・在学者、または市内で活動する個人および団体
提出方法▶ 原則として、公表場所で配布している所定の様式を使用し、次のいずれかの方法で提出してください ▶ 直接…公表場所(教育センターは3階視聴覚センターへ提出) ▶ 郵送…〒344-8577 (所在地不要) 春日部市役所政策課 ▶ FAX …734-2593 ▶ 市WEB seisaku@city.kasukabe.lg.jp ▶ 市WEB
留意事項▶ 意見を提出する際は、必ず氏名と

住所を記入してください。記入がない場合は、原則受け付けできません。また、口頭や電話での意見は受け付けできません
意見、市の機関の考え方の公表▶ 皆さんから寄せられた意見とそれに対する市の機関の考え方を公表します。ただし、類似した意見はまとめて公表し、氏名や住所などは公表しません。意見を提出した人への個別の回答はしません

1分で分かる SDGs

このコーナーでは、貧困、気候変動など世界共通の問題解決へ向けたSDGsの17の目標を、具体的な行動とともに紹介しています。

問 政策課 (内線2117)



15 陸の豊かさも守ろう
私たちにできるアクション
▶ 生き物さがしに参加しよう
▶ 使い捨て製品を避けてゴミを減らそう
▶ FSCマークのついている製品を選ぼう

●春日部市の現状

市では、2017年度から「みんなで取り組む生き物さがし」を実施しており、市民自ら生物多様性を調べる取り組みを進めています。また、地域の環境保全に関心を持つ市民や事業者による環境ネットワークを組織し、主体的に市民啓発事業を展開するなど、地域の環境を守る取り組みを積極的に進めています。

あなたに身近なSDGs

会員名 株式会社マツナガ
(かすかべSDGsパートナーズ会員)

当社は、建設現場にハイブリッド重機を導入し、作業の効率化と環境負荷低減に取り組んでいます。また、建設発生土を再利用して造成した土地に、メガソーラー発電所を建設し、CO₂を削減する取組や発生土自体を再資源化する土のリサイクルを行い、循環型社会の実現を目指しています。



会員WEB ▶



8 働きがいも経済成長も
私たちにできるアクション
▶ ワークライフバランスを考えてみよう
▶ フェアトレード商品を買おう
▶ 地産地消を意識して行動しよう

●春日部市の現状

市では、全職員を対象に実施した職員活躍推進に関するアンケート調査の結果に基づき、春日部市女性職員の活躍推進に関する特定事業主行動計画を策定し、女性職員が活躍できる職場環境の整備や、性別に関係なく「いきいき」と働ける職場づくりの整備を進めています。

あなたに身近なSDGs

会員名 昭和建設株式会社
(かすかべSDGsパートナーズ会員)

当社は、地元密着型の建設会社です。公共工事には、積極的にリサイクル製品を活用し、環境負担の軽減に取り組んでいます。また職員が働きやすい環境をつくり「埼玉県多様な働き方実践企業・プラチナ」に認定されています。



会員WEB ▶